製造業



畳製造と見積のDX化



日産100枚のロボットによる高精度な製造

背景・課題

背景として手で作る職人仕事では大量生産は難しく規模の拡大に限界があること、さらに近い将来は雇用の確保も難しくなると考えました。そのため、ロボットの導入を進めました。見積のオンライン化については、コロナ禍での自宅時間の需要、財務分析をしキャッシュフロー改善のため個人顧客を取ろうと考えました。

創意工夫した点・得られた成果・今後の展開

「生産性向上の先に、従業員が快適に働ける」ことを目指しました。ロボット導入では熟練された職人ではなく若いパート2名体制で100畳/日の大量生産を実現しました。オンライン見積では現地見積もりがほとんどなくなったため車での往復が減りました。従業員が口をそろえて「働きやすい」と言ってくれています。



有限会社伊藤畳商店

代表取締役 伊藤 裕司

本 社 愛知県名古屋市南区三吉町二丁目31番地の1

